

【教会の使命】 世界の創造の秩序の回復と、キリストによる和解の福音をこの世界に広める

- 【基本方針】 (1) 信徒・求道者の方々を守る = 信徒・求道者の方々が感染しない・感染させない
(2) 社会的責任を果たすこと = 教会の活動が感染の拡大に寄与しない

通常 ワクチンが開発され、認可、投与、効果が発揮されるようになる。もしくは、終息宣言が出された時。
(平常時に回復した状態) ⇒ 通常の活動を制限なく行います。

所在地の地方自治体(都道府県)での感染者あり

レベル1

- (1) 主日礼拝について ・主日礼拝は「通常通り」行います。
- ・礼拝を欠席される方へのフォローをネット配信、録画配信等で行います。
 - ・以下に該当する方は参加しないでください。①体調が優れない方(体温が37.5度以上・咳症状・だるさなど。)
 - ②持病(基礎疾患)がある方(具体的には、糖尿病、心不全、腎障害・透析患者、抗がん剤治療中、免疫抑制剤投与患者、その他通院中の主治医より感染のリスクがあると判断された方)
 - ・以下に該当する方は参加しないことを強く勧めます。①ご高齢の方 ②疲れがたまっている方
 - ・聖餐式：各教会の小会の監督のもと執行または、中止。執行する場合は、以下の注意を持って行う。
 - ①司式者が式文を朗読する間はフタを閉めた状態にしておくこと
 - ②準備と配餐の担当者は手指を消毒の上、マスクを着用して配餐にあたること
 - ・礼拝前には受付にて手指をアルコール消毒。ドアノブ等人が多く触れる部分については礼拝前に除菌シートで拭く。
 - ・手洗いを励行し、手で目、鼻、口を触らない。触った場合は、再度手洗い、消毒を行う。
 - ・礼拝後の交わりは最小限に抑え、速やかに散会とする。
 - ・献金袋予め消毒し、担当者が持って回ります。(不特定多数で触らない)
 - ・着席は1メートル以上離れて、講壇からは2メートル以上離れます。
 - ・礼拝中は賛美を歌う時を除いて(周囲への音の配慮)換気を励行します。
- (2) 諸教会、諸集会についても、・(1)に準じて、最大限の注意しつつ行う。
- (3) 聖歌隊などについて 大いに注意を払いつつ、リーダーが練習方法、発表方法について検討、判断し、実施する方法などを小会に報告し、判断を仰ぐ。

所在地自治体の知事から週末の外出自粛要請が出た場合。近隣地域に感染者が出た場合

レベル2

対面による会合は基本的に中止。すべての集会はネットなどによる形式に変更。
ネット環境を持たない方への配慮を行う。(礼拝奉仕者は礼拝堂に集まって奉仕・配信)

緊急事態宣言 さらに感染が広まり、具体的には緊急事態宣言が出た場合、政府は県知事を通じて集会、外出の自粛を要請。正当な理由がなく従わない管理者には、指示できるようになる。(罰則規定なし)

レベル3

礼拝はインターネットによる配信(ライブ、録画)等で対応。(牧師は自宅もしくは、礼拝堂から司会、説教等を単独で行う) ・予定している全ての集会を延期または中止。 ・通常の対面での会合は中止。
やむをえず実行する場合はインターネットなどで行う。 ・教会での活動はすべて中止。

緊急事態宣言など(外出自粛の要請)が停止した場合、あるいは教会の感染者が治癒(入院した場合は退院、自宅療養の場合は、医者から治癒の証明)してから2週間後、<レベル2>に移行する。

WHOも中国政府からウイルスの終息宣言が出た場合、**通常**に移行する